

リーダー☆インタビュー

◎ TOKO 株式会社トコウ 代表取締役 斗光 健一 氏



「楽しく仕事をしよう」をモットーに、社員の笑顔があふれる職場づくりに取り組む斗光社長



株式会社トコウ

2020年7月に新築した社屋

所在地 入間市中神991
代表者 代表取締役 斗光 健一 氏
事業内容 金属製品、木工製品、樹脂製品の塗装、特殊塗装、その他塗装全般
資本金 300万円 従業員数 50名
TEL 04-2935-0888
<https://toko-toso.com>



「進化する塗装屋」として躍進する同社の斗光社長に話を伺いました。

★貴社の概要について、教えてください。

斗光 設立が平成20年1月で、現在18期目です。素材を問わない塗装ができることが強みになっています。塗装業界では、金属塗装と木工塗装の両方を同じ会社ができる会社は少ないです。それくらい金属塗装と木工塗装では、塗装の種類が全く違います。この入間近辺は西川材の産地ですので、木工関連の会社がたくさんあります。リーマンショックで仕事が激減した時期は金属塗装専門でしたが、埼玉県産業技術総合センターの専門家派遣事業で先生のご指導をいただき、木工塗装技術を習得して今に至ります。それがなかつたら今が無いくらいのことでの、皆さんには大変お世話になりました。また、別の機関で経営や経営者についても学び、お客様の構成も約9割が入れ替わるような大きな変革を実行しました。そのうちのほとんどがホームページからの問い合わせです。業界全

体ではホームページを活用していない企業が多い中、当社ではホームページにも力を入れています。

これまでの工業製品と建築資材の塗装から、現在はそれに加えて航空機部品、店舗什器、家具、家電、電子機器、スポーツ用品、デザイナー作品等々のさまざまな製品塗装をしています。

★幅広く何でも塗装できるそうですが。

斗光 焼き付け塗装、粉体塗装、木工塗装など幅広い塗装技術を持ち、金属・木工・プラスチック製品と素材を問わず、さまざまな製品に塗装を施すことができる技術と知識が強みです。木目塗装、黒革風塗装、^{さび}鑄調や石目調などの特殊塗装では、オリジナリティーの高い塗装を実現することができます。環境に優しい水性塗装、遮熱塗装や抗菌塗装などの機能塗装、塗装とUVプリントを融合したデジペイントでは、これまで不可能とされてきた鏡面にもUVダイレクトプリントが可能です。

お客様の求める品質とコストに最適な塗装をご提案し、「お客様の困った」を解決します。



私たちは<塗装コンシェルジュ>です



デジペイント (デジタル塗装)



塗装作業



塗装ロボット

★委員会活動を行っているようですが

斗光 ただ仕事をこなすだけでなく、委員会活動を通していろいろなことに取り組んでいこうと、全員で楽しみながらやっています。顧客満足度の向上、安全性の確保、効率と品質の向上、社員の意識向上などを目的に、「5S委員会」「安全委員会」「SDGs委員会」「お客様対応向上委員会」「業務標準化委員会」「塗料管理委員会」「広報委員会」「新製品開発委員会」の8委員が活動しています。

★廃塗料の再資源化に取り組んでいますね。

斗光 SDGsの一環で産業振興公社の支援を受け、廃塗料や余剰塗料のリユースやリサイクルに取り組んでいます。コストの低減やさらなる有効活用が課題ですが、環境問題の改善に大きく貢献できますので、引き続き取り組んでいきます。

★今後の展開・抱負は

斗光 ネットワークを生かしたパートナー会社(協力塗装会社)との「塗装プラットフォーム工

ブハピ(Everyone Happy)」を展開しています。同じ塗装会社でも各社強みが違います。この強みを共有し、最大限活用することで、お客様のご要望に沿って、より良い仕事を適正価格で実現します。ホームページを持っていない会社が多く、自社の強みを発信できないとお客様に気付いてもらえないのです。パートナー会社の得意な仕事(塗装)、強みを当社で把握して、割り振りできたらいいねと、各社に出向いてヒアリングして、パートナーを増やしている最中です。コロナ禍以降、今までライバルだった会社と協業することのメリットに気付きました。お客様もHappy、協力会社もHappy、日本中がHappy。Everyone Happyなコミュニティーを構築することを目指しています。現在30~40社ですが、ネットワークを増やしていく、日本全体を盛り上げていきたいと思います。

何のために会社があつて、仕事をしているのかを考えると、とにかく「楽しく仕事をしよう！」をモットーに、社員が幸せになれる会社づくりを目指しています。

(敬称略)

